

**第36回
福岡県
美しいまちづくり
建築賞
作品集**

**'23
36th**

works

artistic urban design

award for

36th architectural

fukuoka prefecture

2023

public competition

ご挨拶

福岡県知事 ■ 服部誠太郎

本県では、「誰もが安心して、たくさんの笑顔で暮らせる福岡県」を目指し、さまざまな施策に取り組んでいます。「福岡県総合計画」では、展開する施策の一つとして、「自然との共生と快適な生活環境の形成」を掲げ、良好な景観形成に資する建築物を表彰することにより、美しいまちづくりに対する県民意識の醸成と快適な生活環境づくりを推進しています。

「福岡県美しいまちづくり建築賞」は、個性豊かで、美しく、誇りを持って次の世代に継承することができる景観を形成し、美しいまちづくりに寄与する建築物を表彰するために創設し、今回で36回目を迎えます。

今回は、ご応募いただいた47の作品の中から、幅広い分野の学識経験者などで構成する選考委員会による厳正な審査を経て、特に優れた7作品を表彰することといたしました。

大賞に選ばれた住宅の部「houseG / shopG」、一般建築の部「太宰府天満宮 仮殿」をはじめ、いずれの作品も、周辺の自然環境や景観と調和するとともに、地域に根ざした親しみのある建築空間を創出し、個性と魅力にあふれた作品となっています。

これらの作品を表彰することにより、良好な景観形成、快適な生活環境の形成に対する県民の皆さまの意識が高まることを期待しています。

結びに、選考委員をはじめ関係者の皆さまのご協力を感謝申し上げますとともに、受賞者ならびに応募者の皆さまのますますのご活躍をお祈りいたします。

総評

選考委員長 ■ 末廣香織

今年で36回目を迎えた本賞には、「住宅の部」21件、「一般建築の部」26件の応募があり、多様な視点を持つ10名の選考委員によって審査が行われました。応募書類による9月の一次審査を経て、9作品が現地審査に進み、リフォーム・リノベーション作品を対象とする福岡県建築住宅センター理事長賞候補の3作品も現地審査に進みました。現地審査は11月中に行われ、その後の最終審査を経て住宅の部3作品、一般建築の部3作品、理事長賞1作品の受賞が決定しました。例年にも増して非常に優れた作品が多く、受賞作品を選ぶのは困難な作業でした。県内に多くの優れた建築ができあがっていることは、とても喜ばしいと感じています。

「住宅の部」の大賞を受賞した「houseG / shopG」は、街の歴史を伝える旧唐津街道に面した木造の店舗併用住宅です。近隣の生活道路に対して象徴的に開いた大きな開口が、街並みとの関係を作っており、歴史的な町家の姿を現代的に再解釈しています。また、開放的で可変性の高い架構の仕組みが、時代の流れにも対応しやすい柔軟性を持つことも評価されました。優秀賞を受賞した「屋根裏の家」は、屋根裏空間を構成する3層の規則的な木架構グリッドが特徴的です。鉄筋などの斜材や床面を空間内に配置することで、張り出したテラスを含めてバランス良く構造を成立させており、結果として非常に立体的でダイナミックな屋内空間ができあがっています。奨励賞を受賞した「造成と影、あるいは対角と光による家と庭」は、北に向かって傾斜する敷地状況を合理的に解釈して、特徴的な三角形平面と屋根形状を導き、レベル差のある空間構成と庭との関係が魅力的に作られています。現地審査に残った「風路舎」も、非常に美しく完成度の高い優れた住宅でしたが、受賞には一歩及びませんでした。

「一般建築の部」の大賞を受賞した「太宰府天満宮 仮殿」は、歴史ある神社を改修するのに伴って設けられた仮設建築です。大きく傾斜した屋根の上には、周囲の森と同じ木々や梅が植えられ、まるで森の一部が巨大な花器の上に切り取られて、空中に浮遊したような印象を与えています。アプローチからも門の向こうに美しい緑が見え、馴染みのある歴史的な景観を斬新なイメージで鮮やかに刷新したことが高く評価されました。優秀賞を受賞した「鳥飼八幡宮 式年遷宮」もまた、歴史ある神社の建て替えでした。その拝殿には原初の祈りを想像させる巨大な10本の自然石が建てられ、その存在感を際立たせたままに、周囲を取り囲む壁が厚重的な祈りの空間を作り上げています。隣に作られた対拝殿は、対比的に軽快で開放的な木の空間です。両者ともに柱という象徴的な祈りの要素を美しく生かした建築となっています。奨励賞の「小石原の事務所」は、山間の街の中心部に立つオフィスです。美しく完成された建築のありかたと、周りの庭園も含めて地域景観の向上に貢献している姿勢が評価されました。現地審査に残った「久留米市中央公園 Park-PFI プロジェクト_KURUMERU」、「ボタニカルライフスクエア(福岡市植物園)」も周囲の公園との関係がデザインされた非常に優れた建築でしたが、受賞には一歩及びませんでした。

「福岡県建築住宅センター理事長賞」を受賞した「PERGOLA HOUSE –時・町並み・公私・暮らしをつなぐ–」は、木造の古い形式の住宅を現代的でフレキシブルなプランに改修し、隣に増築した小さな事務所との間をテラスとパーゴラでつなぐことで、屋内外の快適な環境をデザインしています。現地審査に残った「川辺の古民家」、「福間のアトリエ –竹にまつわる物語り–」もそれぞれ魅力的でしたが、受賞には一歩及びませんでした。

目次

ご挨拶	00
総評	01
大賞	02-05
優秀賞	06-07
奨励賞	08
福岡県建築住宅センター理事長賞	09
最終選考対象作品	10
これまでの大賞受賞作品	11-13

大賞

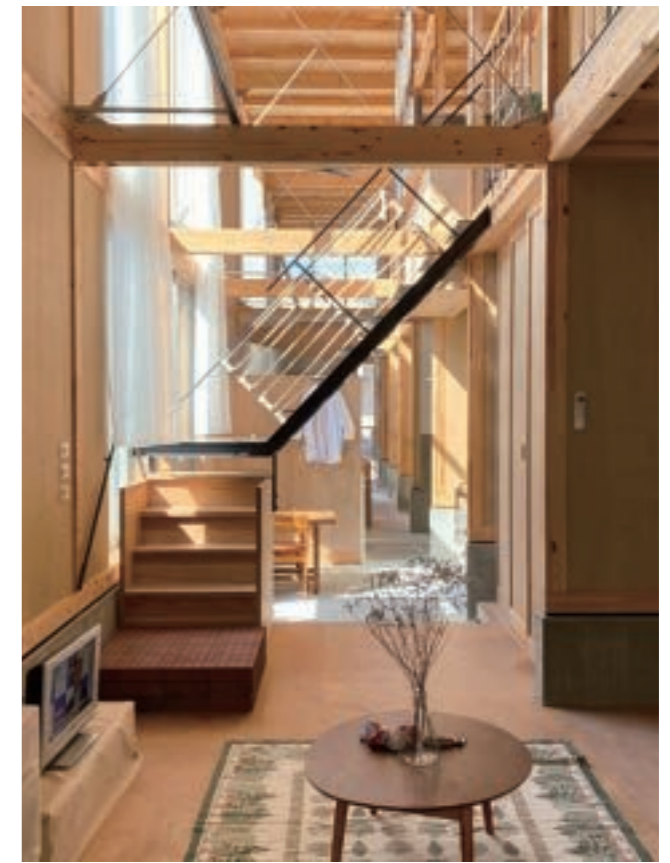
住宅の部 ■ houseG / shopG

設計趣旨 古くは漁村として、江戸時代には唐津街道沿いの宿場町として栄えた計画地は近年大規模な建替えが起こっており、海と街道に根ざしかつての営みは今では見られなかった。しかしその歴史性は「地割」と、減りつつも残る町家や社寺の建ち方にしっかりと記憶されており、変わらぬ構造的な信頼ができたため、それを建築の質へと置き換えるスタディを進めた。

現れたのは基準モジュールである2,400mmの間口、高さ6,000mmの断面が奥に向かい9スパン延びる一室空間だ。その道のような質を持つ「がらんどろ」の傍ら、基準モジュールの約数600mmを減じながら敷地形状にアジャストしつつその界壁を構造壁とした空間が並走する。上方では金属ブレースを長辺方向に反復配置、短辺断面は上下対角に耐力要素が分布した状態となった。

施主は当初、住まいに加え簡易な飲食業を行う予定だったが、結果的には通りに大きく開かれた鮓屋となった(この移り変わりには驚いた)。しかし彼らにとっては未だ現れていない空間がどのようなものになるかを町の歴史と地続きで実感し、そして引き受けようという気概がその変遷に現れていたようだった。

地域固有の歴史性を軸足に、もう一方は生活の変化に対するしなやかさを備えるあり方。場への信頼と許容性、そしてひとの生き方を後押しする動機となるような建築を目指した。



所在地 福岡市西区
建築主 個人
設計者 一級建築士事務所木村松本 木村吉成 松本尚子
〒603-8346 京都市北区等寺院北町58-1
TEL. 075-748-1934
<https://kmrmtmt.com>
施工者 株式会社藤匠住宅 代表取締役 岩本結
用途 住宅・店舗
構造規模 木造 2階建て
竣工日 2022年4月

大賞

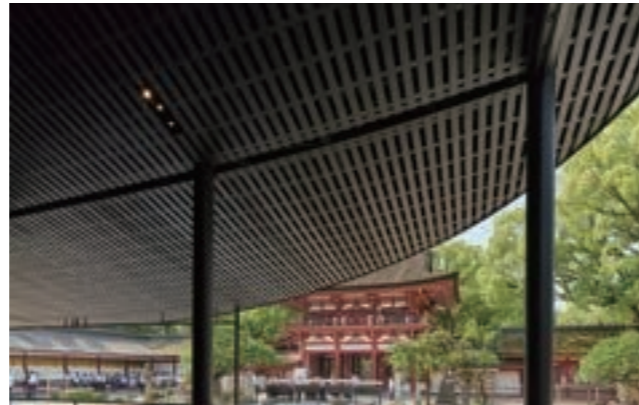
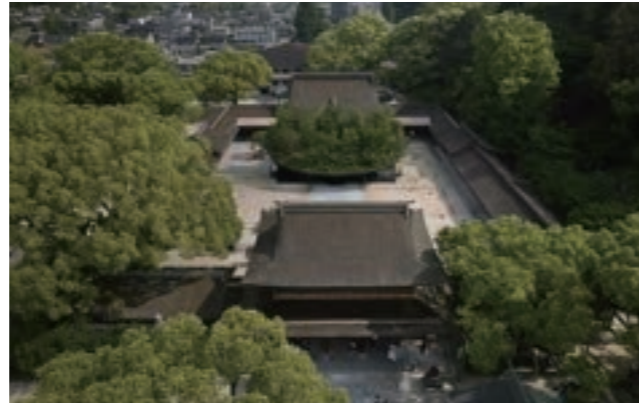
一般建築の部 ■ 太宰府天満宮 仮殿

設計趣旨 太宰府天満宮124年ぶりの御本殿大改修工事に際し、その3年の工事期間に設けられる仮殿。

豊かな自然や天満宮の1100年以上の歴史と伝統といった重層性をどう受け止め、つり合い、そして未来につながる形とするか。スタディを重ね、御本殿の大きくて美しい屋根を無視することはできない感覚と、古くから残る伝統や伝説が太宰府天満宮の地にて受け継がれていることに意識を傾け、強い存在である屋根を弱い存在とさせる為に自然の力を借りる「浮かぶ森」のコンセプトが生まれた。

斎場内は、現代的なプロポーションと伝統的な空間が水平線上に広がり、御扉を中心とした祭壇が、森の影の中から印象深く映えることを意識している。内部に近づくとルーバー状の天井が曲面状に現れる。これは御本殿の伝統的な垂木を踏襲しており、斎場内の厳粛な空間へとなめらかに誘う。さらに内部に踏み入ると、斎場の天窓から美しい空と共に森が目に飛び込み、再び天満宮の豊かな自然を体全体で感じることができる。

屋根上の樹木は、太宰府天満宮境内のアイデンティティでもあるクスノキをはじめとする常緑を主体としている。加えて太宰府天満宮の梅林で育てられた梅の木や、花や色彩が季節によって変化する樹種を用いて境内の自然と共に変化する。



所在地 太宰府市
建築主 太宰府天満宮 宮司 西高辻信宏
設計者 株式会社藤本社建築設計事務所
建築家・代表取締役 藤本社介
〒135-0044 東京都江東区越中島2-1-38 千住倉庫5号棟
TEL. 03-5385-8990
<http://www.sou-fujimoto.net/>
施工者 株式会社竹中工務店 九州支店長 藤本博志
用途 仮殿
構造規模 S造 1階建て
竣工日 2023年4月
撮影 阿野太一

優秀賞

住宅の部 ■ 屋根裏の家

設計趣旨 福岡市早良区の、かつては海岸線だった土地に建つ住宅である。敷地北側には1980年代に造成された埋立地が広がり、南に借景する松林はかつての浜辺の名残だ。施主は若い共働きの夫婦で、眺めの良いワークプレイスと開放的な吹抜け、大きな収納を希望した。コロナ禍によって住宅のあり方が見直される中、単に書斎や収納をつくるのではなく、生活と仕事が混じり合い、未来の変化に柔軟に対応できる空間をつくりたいと考えた。そこで、LDKの上には大きな屋根を架け、巨大な余白として屋根裏の空間を浮かべたことを思いついた。職と住が分離されたのは近代以降のこと。それまでの民家では仕事と生活は当たり前のように同居しており、屋根裏は手仕事や養蚕に使われ、納戸でもあった。このような屋根裏をアップデートして現代的なモノとコトを収め、将来の拡張可能性をも担保する持続可能性を考慮したアイデアだ。



©新建築写真部



©表恒匡



©新建築写真部



©表恒匡



©表恒匡

所在地 福岡市早良区
建築主 個人
設計者 ICADA一級建築士事務所 千種成頭 岩元真明
 〒153-0053 東京都目黒区五本木2-35-12
 TEL. 090-2905-9281
<http://icada.asia/>
施工者 株式会社久木原工務店 代表取締役 久木原圭一
用途 専用住宅
構造規模 木造 3階建て
竣工日 2022年3月
撮影 新建築写真部
 表恒匡

優秀賞

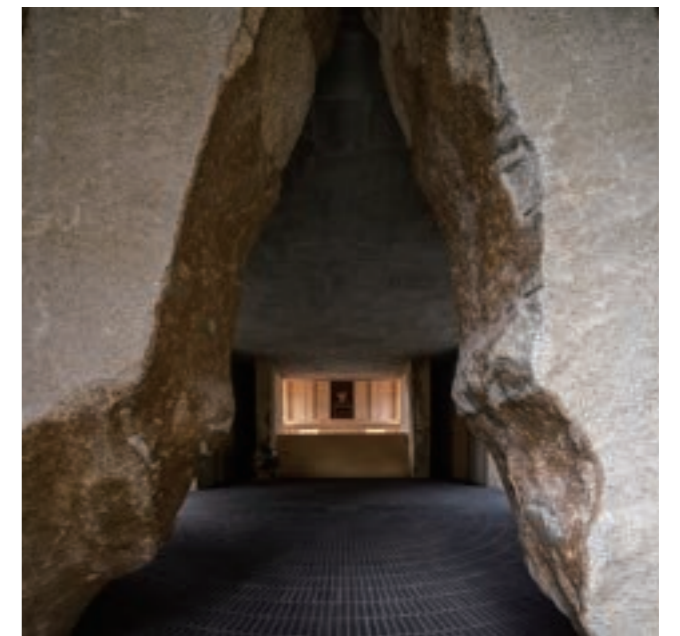
一般建築の部 ■ 鳥飼八幡宮 式年遷宮

設計趣旨 鳥飼八幡宮は弥生時代に起源をもつ。本計画は江戸時代に建立した本殿拝殿の建て替えとその間に使用する仮宮の新設である。地域の繋がりや氏子意識が薄れゆく風潮の中で、歴史と伝統を踏まえた上で神社を現代に最適化したい。宮司の想いに応えるために境内の整備と全く新しい社殿を計画して再び地域やより広域の人々が集う神社の未来を模索した。

環状列石のような人為的に創られた祈りの場を持つ神聖さを今に再現できないか。石が日時計のように競り立つ磐座の拝殿をイメージした。内部は、薄暗い洞窟に入ったような厳然な空気感を持たせた。四方に開いた岩の裂け目からは節気ごとに異なる光が差し込む。外部は原始的な建材のススキで葺いた。膨大な手仕事の集積が馴染みやすい表情をつくりながら断熱を兼ね、躯体を塩害から護っている。本殿は高床板倉の神明造として、最も古いとされる神社建築様式を参照している。

造営中に使用する仮宮は拝殿とは対照的に、光の溢れる簡素な架構による木造の空間とした。遷宮後も常設とするため、境内の見通しを損ねないよう透過度の高いガラスで囲った。

神道では永久と常若の思想があり、常に瑞々しい状態を保ちながらそこに在る永続性が求められる。今後の遷宮では、茅の葺替えを行うことで常若を体現していく。茅壁の柔らかい風景と、普遍の巨石が地域の人びとの依代になることを願っている。



所在地 福岡市中央区
建築主 宗教法人鳥飼八幡宮 代表役員 山内圭司
設計者 一級建築士事務所二宮設計 二宮隆史 二宮清佳
 〒810-0022 福岡市中央区薬院1-4-8 あづまビル31
 TEL. 092-406-7773
<https://ninomiyasekkei.com>
 株式会社東京堂宮 岡田康彦
施工者 アスミオ株式会社 代表取締役 吉岡澄男
用途 神社(本殿・拝殿)
構造規模 木造・RC造・木造一部鉄骨造 1階建て
竣工日 2022年12月
撮影 NoboruInoue
 YasuKojima(2枚目のみ)

奨励賞

住宅の部

■ 造成と影、あるいは対角と光による家と庭

所在地 福岡市中央区
 建築主 個人
 設計者 Atelier koma一級建築士事務所 代表 松井大佑
 〒815-0082 福岡市南区大楠3-22-17-301
 TEL. 092-517-0357
<https://atelierkoma.com/>
 施工者 株式会社イクスワークス
 取締役 内山琢也
 竣工日 2023年4月
 撮影 YASHIRO PHOTO OFFICE



一般建築の部

■ 小石原の事務所

所在地 東峰村
 建築主 株式会社ヒタヤ 代表取締役 柳瀬謙二
 設計者 有限会社田中俊彰設計室 取締役 田中俊彰
 〒810-0024 福岡市中央区桜坂1丁目8-6
 TEL. 092-403-3987
<https://www.t-tanaka-associates.com/>
 施工者 時川建設有限公司 代表取締役 時川貴紀
 竣工日 2021年11月
 撮影 Kouji Okamoto



福岡県建築住宅センター理事長賞

選考テーマ: 既存建築物のリフォーム・リノベーション

■ PERGOLA HOUSE - 時・町並み・公私・暮らしをつなぐ -

設計趣旨

本計画は、祖母が一人で暮らす住宅を、子世帯、孫世帯が働きながら住まう建物へ改修する計画である。敷地は八女市前古賀。前古賀では町のコンパクト化や交通網の発達など複合的な理由から人口が増加している傾向にある。現に13年前(平成24年)では184世帯であったが現在は201世帯と17世帯増加している。この数字は小さな集落の景色を変えるには十分な数字である。集落の輪郭が変化し続け自然と調和した風景を失う中で、故郷の魅力を残しながら変化を受け入れていく建築の在り方について考えた。計画地はかつてぶどう棚が広がっていた場所で、「パーゴラ(ぶどう棚)」の原風景を生かし、これを生活と結びつける形で再解釈した。庭と建築を市松状の関係性にすることで、内外が隣り合う配置計画とし、中央に設けたパーゴラは雨や日射を通す木陰のような特徴的な空間を生み出しながら内外を緩やかにつなぎ合わせる。内部改修では、骨格の変更を最小限に抑え室名を入れ替える事で現代の生活に合った居場所の選定を行った。これらの手法により故郷の魅力を残しながら町の変化を受け入れる建築のあり方を実現できたのではないかとと思う。



所在地 八女市
 建築主 有美工房株式会社 代表取締役社長 江淵広登
 設計者 スタジオエプシ 江淵翔
 〒834-0054 八女市前古賀103-9
 TEL. 0943-22-8018
<http://yumicraft.com/>
 施工者 有美工房株式会社 代表取締役社長 江淵広登
 用途 住宅・事務所
 構造規模 木造 2階建て
 竣工日 2018年6月

最終選考対象作品

住宅の部 風路舎
所在地 田川市
建築主 個人
設計者 T-Square Design Associates 代表 津田茂
〒540-0031 大阪市中央区北浜東1-29
北浜ビル2号館10F
施工者 株式会社たか建築舎 代表取締役 佐々木隆
竣工日 2022年11月
撮影 楠瀬友将



一般建築の部 久留米市中央公園
Park-PFIプロジェクト_KURUMERU
所在地 久留米市
建築主 久留米市長 原口新五
高橋株式会社 代表取締役 高橋彦太郎
設計者 株式会社オープン・エー
代表取締役 馬場正尊 小倉畑昂祐
〒103-0002 東京都中央区日本橋馬喰町2-7-15 7F
ICE / ichie architects 一級建築士事務所
市江龍之介
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷3丁目13-20
第7宮庭マンション504号
施工者 金子建設株式会社 代表取締役社長 金子泰大
竣工日 2022年6月
撮影 楠瀬友将



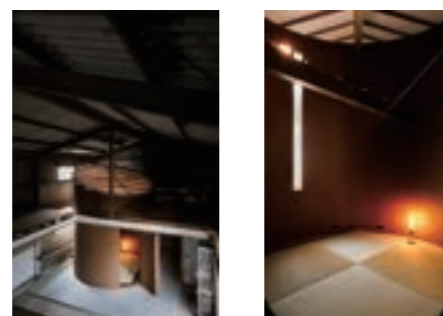
一般建築の部 ボタニカルライフスクエア(福岡市植物園)
所在地 福岡市中央区
建築主 公益財団法人福岡市緑のまちづくり協会
理事長 大谷雄一郎
設計者 アトリエサンカスケール株式会社
代表取締役 村上明生
〒818-0072 筑紫野市二日市中央6-3-6
施工者 パナソニック建設エンジニアリング株式会社
代表取締役社長 南畑亮
竣工日 2023年2月
撮影 ikumasatoshi (TechniStaff)



住宅の部 川辺の古民家
所在地 柳川市
建築主 個人
設計者 株式会社ホームランド 黄文静
〒810-0022 福岡市中央区薬院2-4-15
施工者 株式会社ホームランド 中村聡
竣工日 2016年10月



一般建築の部 福岡のアトリエ -竹にまつわる物語り-
所在地 福津市
建築主 個人
設計者 九州産業大学 建築都市工学部
住居・インテリア学科 信濃研究室
准教授 信濃康博
〒813-8503 福岡市東区松香台2丁目3-1
九州産業大学 建築都市工学部 8号館8階8816
信濃研究室
施工者 株式会社住幸房 代表取締役 池尾拓
竣工日 2023年3月
撮影 air studio日高康智



ご応募いただきました皆様、ありがとうございました。
福岡県美しいまちづくり建築賞につきましては福岡県庁ホームページからもご覧いただけます。

これまでの
福岡県美しいまちづくり建築賞
[建築住宅文化賞] 大賞受賞作品 / 1回-12回

第1回福岡県建築住宅文化賞
昭和63年度
北九州市立美術館



1

第2回福岡県建築住宅文化賞
平成元年度
石橋別邸第一水明荘
福岡県立
花園幼稚園
ピレツジ香月



2



第3回福岡県建築住宅文化賞
平成2年度
松口邸
的野歯科医院
立花山の家
グリーンピア八女



3

第4回福岡県建築住宅文化賞
平成3年度
進藤邸
不知火病院"海の病棟"
山田市立山田小学校
福岡ウォーターフロント
プロムナード"マリゾン"



4

第5回福岡県建築住宅文化賞
平成4年度
苅田町立図書館
明治学園高等学校体育館
カルタックスおおむた



5

第6回福岡県建築住宅文化賞
平成5年度
田川文化エリア
福岡県青少年科学館
佐田邸(4世代の家)



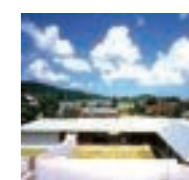
6

第7回福岡県建築住宅文化賞
平成6年度
茶の文化館
二丈町の家
山笠の家(橋本邸)
西大谷第2団地(市営住宅)



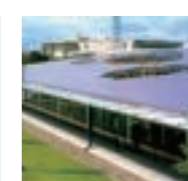
7

第8回福岡県建築住宅文化賞
平成7年度
縄田邸
上陽町立尾久保小学校



8

第9回福岡県建築住宅文化賞
平成8年度
碓井琴平文化館
新宮湊坂



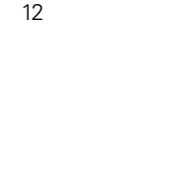
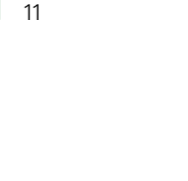
9

第10回福岡県建築住宅文化賞
平成9年度
鞍手の家
太宰府長浦台の家



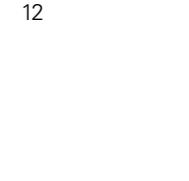
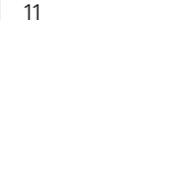
10

第11回福岡県建築住宅文化賞
平成10年度
瀬高町立図書館・歴史資料館
山村留学ふれあい館(筑穂学舎)



11

第12回福岡県建築住宅文化賞
平成11年度
山田市立下山田小学校



12

これまでの
福岡県美しいまちづくり建築賞

[美しいまちづくり賞、美しいまちづくり建築賞] 大賞受賞作品 / 13回 - 27回

第13回福岡県美しいまちづくり賞
平成12年度
めくばーる三輪
青葉台ほんえるふ



13

第14回福岡県美しいまちづくり賞
平成13年度
大野城の住宅
ひふ科いのうクリニック
八女市多世代交流館「共生の森」



14



第15回福岡県美しいまちづくり賞
平成14年度
City Cube
篠栗幼稚園



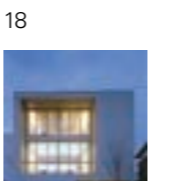
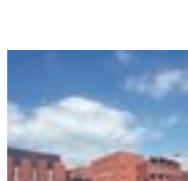
15



第16回福岡県美しいまちづくり賞
平成15年度
SHIMA STYLE
渡辺クリニック姪浜
247

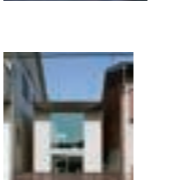
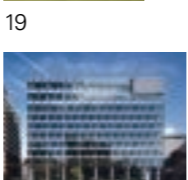
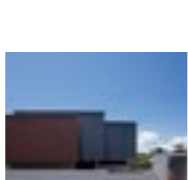
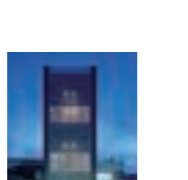


第17回福岡県美しいまちづくり賞
平成16年度
カルシア小戸ナチュア



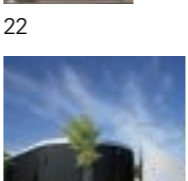
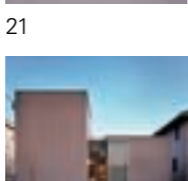
17

第18回福岡県美しいまちづくり賞
平成17年度
昭和初期和風住宅の移築プロジェクト
西南学院中学校・高等学校
伊田堅抗櫓二本煙突(景観賞)



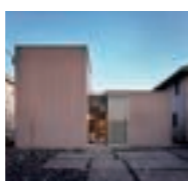
18

第19回福岡県美しいまちづくり建築賞
平成18年度
TERZETTO(テルツェット)
中村製紙所新社屋



19

第20回福岡県美しいまちづくり建築賞
平成19年度
須崎の長屋



20

第21回福岡県美しいまちづくり建築賞
平成20年度
東神原の家
アクア博多



21

第22回福岡県美しいまちづくり建築賞
平成21年度
ペットと暮らす家[K邸減築工事]
天神MENTビル



22

第23回福岡県美しいまちづくり建築賞
平成22年度
豊前の家
下川歯科医院



23

第24回福岡県美しいまちづくり建築賞
平成23年度
むさしヶ丘の住宅
築上町火葬場



24

第25回福岡県美しいまちづくり建築賞
平成24年度
四季の家
料亭 嵯峨野



25

第26回福岡県美しいまちづくり建築賞
平成25年度
Obi house
筑紫保育園 分園



26

第27回福岡県美しいまちづくり建築賞
平成26年度
大池の住宅
椎木講堂



27

これまでの
福岡県美しいまちづくり建築賞

[美しいまちづくり建築賞] 大賞受賞作品 / 28回 - 35回

第28回福岡県美しいまちづくり建築賞
平成27年度
松原の家
BOATHOUSE OHORI PARK



28



第29回福岡県美しいまちづくり建築賞
平成28年度
太宰府の家
SHIP' S GARDEN



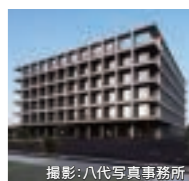
29



第30回福岡県美しいまちづくり建築賞
平成29年度
糸島の家[MPラボ]
西南学院大学図書館



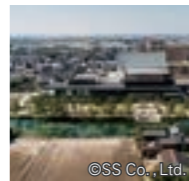
30



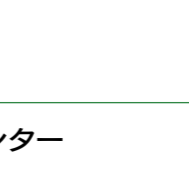
第31回福岡県美しいまちづくり建築賞
平成30年度
小屋の間
すばる保育園



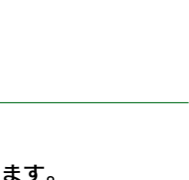
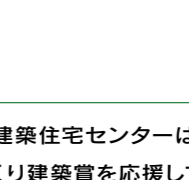
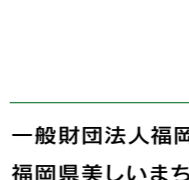
31



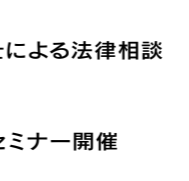
第32回福岡県美しいまちづくり建築賞
令和元年度
平和の家
福岡県弁護士会館



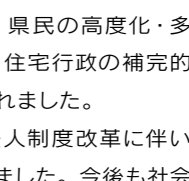
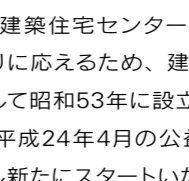
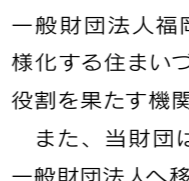
32



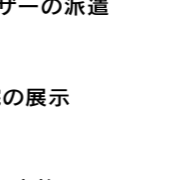
第33回福岡県美しいまちづくり建築賞
令和2年度
浦志の家
嘉麻市庁舎



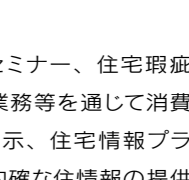
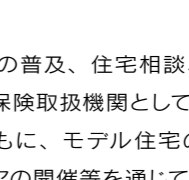
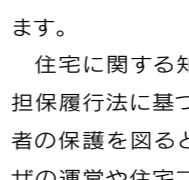
33



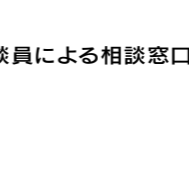
第34回福岡県美しいまちづくり建築賞
令和3年度
TETUSIN DESIGN RE-USE OFFICE
柳川市民文化会館 水都やなかわ



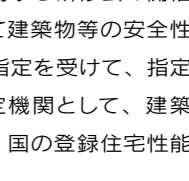
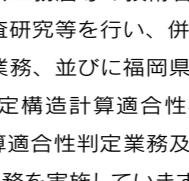
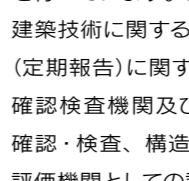
34



第35回福岡県美しいまちづくり建築賞
令和4年度
HOUSE W
福岡市立平尾霊園合葬式墓所



35



一般財団法人福岡県建築住宅センター

建築住宅センターの住まいづくりサポート

- 住宅相談
専門相談員によるアドバイスのほか弁護士による法律相談
- 住まいづくり教室
一般消費者を対象とした住まいに関するセミナー開催
- 住まいの安心リフォームアドバイザー派遣制度
耐震診断・バリアフリーに関するアドバイザーの派遣
- 生涯あんしん住宅
在宅ケア・省エネ・耐震等対応モデル住宅の展示
- インスペクション「住まいの健康診断」
住まいの専門家による既存住宅状況調査の実施
- 空き家活用サポートセンター
空き家の活用や処分などに関する専門相談員による相談窓口
- お問い合わせ先
TEL 092 781 5169
www.fkjc.or.jp/

一般財団法人福岡県建築住宅センターは、
福岡県美しいまちづくり建築賞を応援しています。

一般財団法人福岡県建築住宅センターは、県民の高度化・多様化する住まいづくりに応えるため、建築・住宅行政の補完的役割を果たす機関として昭和53年に設立されました。

また、当財団は、平成24年4月の公益法人制度改革に伴い、一般財団法人へ移行し新たにスタートいたしました。今後も社会経済情勢の変化に対応しながら、県民のニーズに応じてまいります。

住宅に関する知識の普及、住宅相談、セミナー、住宅瑕疵担保履行法に基づく保険取扱機関としての業務等を通じて消費者の保護を図るとともに、モデル住宅の展示、住宅情報プラザの運営や住宅フェアの開催等を通じて、的確な住情報の提供を行っています。また、工務店等の技術者に対する研修会の開催、建築技術に関する調査研究等を行い、併せて建築物等の安全性(定期報告)に関する業務、並びに福岡県の指定を受けて、指定確認検査機関及び指定構造計算適合性判定機関として、建築確認・検査、構造計算適合性判定業務及び、国の登録住宅性能評価機関としての諸業務を実施しています。

'23
36th

第36回
福岡県
美しいまちづくり
建築賞
作品集

表彰の趣旨

今回で36回を迎える福岡県美しいまちづくり建築賞は
福岡県内の地域の自然、風景、歴史、文化、生活、活動等を
背景とした景観の形成に寄与するとともに、建築計画において
優れた建築物に対して、大賞、優秀賞等を授与するものです。

応募部門

- 住宅の部
- ・住宅
- 一般建築の部
- ・原則として住宅以外

※概ね10年前以降に竣工増改築・修繕等含むしたものであれば、
過去に応募したものでも再度の応募は可能です。

主催・福岡県

- 協賛・一財：福岡県建築住宅センター
後援・独法：住宅金融支援機構九州支店
独法：都市再生機構九州支社
福岡県住宅供給公社
公社：福岡県建築士会
一社：福岡県建築士事務所協会
一社：福岡県建設業協会
一社：福岡県宅地建物取引業協会
公社：九州住宅産業協会
一社：日本建築家協会九州支部
公社：日本建築学会九州支部
一社：日本建築学会九州支部
公社：日本都市計画学会九州支部
特非：日本都市計画協会福岡支部
福岡県ゆとりある住まいづくり協議会
福岡県建設業協同組合
福岡県美しいまちづくり協議会

選考委員会

- 五十音順 敬称略
池田美奈子 九州大学大学院芸術工学研究院准教授
石塚康弘 一財：福岡県建築住宅センター理事長
大森今日子 写真家
黒瀬武史 九州大学大学院人間環境学研究院教授
坂口舞 有限会社設計機構フュークス代表取締役
末廣香織 九州大学大学院人間環境学研究院教授
塚崎謙太郎 西日本新聞社文化部長
知足美加子 九州大学大学院芸術工学研究院教授
矢作昌生 九州産業大学建築都市工学部建築学科教授
山本哲也 福岡県建築都市部次長

お問合せ先

- 福岡県建築都市部住宅計画課内
福岡県美しいまちづくり建築賞事務局
電話番号 092 643 3733